

# SDGsへの取り組み

東芝グループの事業活動を通じて、社会の発展に貢献していくという変わらぬ信念は、持続可能な社会の実現を目指すSDGsの方向性に合致しています。東芝エレベータとしても、事業活動を通じてより一層SDGsの達成に貢献すべく、環境負荷の低減と安全・安心・快適の両立を進めます。

＜事業活動を通じての取り組みの一例＞

- 省エネルギーかつ省資源、そして有害物質を削減した、環境性能の高い昇降機のご提供。
- 昇降機リニューアルによる、環境性能の高い最新機種・最新機器のご提供。
- 省エネルギーかつ環境性能の高いビルファシリティソリューションのご提供。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsの全17の目標のうち、事業活動を通じて推進可能な11項目を抽出して取り組んでいます。

## 環境への取り組みについて

### 据付現場での溶接レスへ取り組んでいます

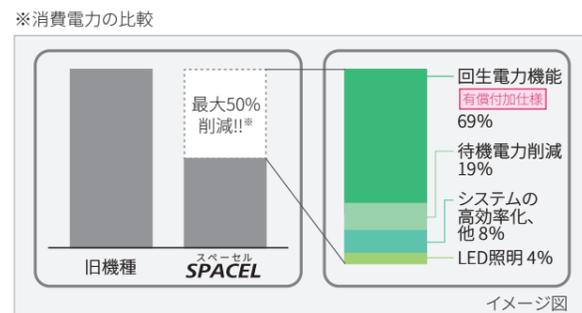
据付現場での溶接レスのメリットとしては、出火の原因となる熱源がなくなり、健康に悪影響を与えるヒュームや紫外線が発生しません。また、一般工具での施工となり、技量の習熟に左右されない、安定した品質の確保にもつながります。ヒュームとは、アーク溶接時に溶けた金属が蒸気となり、空気中で冷やされ微細な粒子になったものです。

## 省エネルギー

### 消費電力最大50%削減

制御装置による待機電流の削減やシステムの効率化、LED照明の採用や回生電力機能（有償付加仕様）との組み合わせにより消費電力を最大50%削減します。

※回生電力機能を採用した、乗用15人乗り 速度105m/min (STD 天井相当)と旧機種 (SPACEL-EX) との比較 (弊社調べ)



## 有害物質の削減

### 鉛の使用量削減

ロープ固定方法をクサビ式ロープ固定装置に変更。ロープ端末処理に使用していた鉛を廃止し鉛の使用量を削減しました。

### LED照明の採用

LED照明の採用により、「水銀フリー」を実現しました。

### 非塩ビ化

床タイルとかご内の扉・天井・側板などの化粧鋼板には、燃やした際に有毒な塩素ガスを発生させない、非塩ビの材料を採用しています。

### オゾン層を破壊しない冷媒を採用

『エレベーター専用クーラー』には、オゾン層を破壊しない冷媒 (R-410A) を採用しています。

## 省資源

### 制御装置バッテリーの交換タイミングの最適化

バッテリーを集約しつつ容量監視を行うことで、予測寿命を踏まえた適切なタイミングでの交換を可能としています。

### ガイドレール用潤滑オイルを廃止

かご室・釣合おもりにローラーガイドを採用したことにより、ガイドシューで必要だったガイドレール用潤滑オイルを廃止し、メンテナンス費用の削減に効果があります。



### 梱包材料のリサイクル化と削減

梱包材料を減らすため、再利用できるメッシュコンテナの採用や輸送時の梱包をスリム化し、梱包材料の削減を進めています。

RoHS指令 (特定有害物質使用制限) に準拠した製品づくりへ取り組んでいます。

「建築基準法」に基づいた「シックハウス症候群」に対応しています。

「厚生労働省指針 (シックハウス13物質)」および「学校環境衛生の基準」に基づいた「シックハウス症候群」に対応しています。

※エレベーターはRoHS指令の対象外です。